様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　2024 年 1 月 12 日

１．職名・氏名　准教授・山崎　淳

２．学位　　学位　修士、専門分野　経営情報学、授与機関　多摩大学大学院、授与年　1998 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 中小企業論Ⅰ（2 単位）2 年次
②　内容・ねらい 中小企業は、多様な存在であることから、理解を深めるためには基礎知識と理論的枠組み、その上で獲得された確かな分析視点で実態に迫ることが求められる。そこで、中小企業におけるさまざまな議論と実例を解説しながら、中小企業の「問題性」、「発展性」を含めた本質に迫るための基礎的枠組みを提供した。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業が地域社会の形成者であることに着目し、地域経済の担い手としての役割について身近な事例を紹介することで、学習意欲を高めるよう工夫した。中小企業経営者から入手した映像資料を活用するなど、臨場感のある授業を目指した。また、現実的課題を理解するためにケース・スタディを試みた。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 中小企業論Ⅱ（2 単位）2 年次
②　内容・ねらい 中小企業政策、中小企業金融など基本的な知識について理解ができるようになることを狙いとしている。さらに中小企業に関する議論を示すことはもちろんのこと、知識集約的なイノベーターとしての中小企業である「ベンチャー企業」についての理解を深めるところまで発展させた。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 新聞記事をとおして学んだ内容について議論を行い、現実的課題を理解するように工夫した。中小企業経営者から入手した映像資料を活用するなど、臨場感のある授業を目指した。また、企業において重要性が高まっている新規事業開発について説明し、演習を試みた。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 基礎ゼミ（2 単位）2 年次
②　内容・ねらい 起業家の特徴を理解する。起業家（アントレプレナー）が新たな事業を創出し、挑戦することの魅力に気づき、起業家への理解を深める。自ら調査・分析し、その結果を伝える能力を養う。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 誰もが知る日本の起業家についての本、雑誌、記事、映像を活用し理解を深めた。さらにグループでの分析、発表、さらに各自の注目する起業家について調べ、ポスター発表することで学習意欲を高める工夫を行った。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 外書講読Ⅰ（2 単位）2 年次

② 内容・ねらい
世界のベンチャー企業、中小企業の動向、起業家の視点について理解する。経営・経済用語について理解し、最新の企業経営の知識を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
世界的に活躍するベンチャー企業、起業家、企業家精神に関する海外のインタビュー記事、資料、起業家の座右の書などを活用した。外書で理解した内容から発展問題に取り組むことで興味を高め、今後の学習につなげるようにした。チーム（3 名程度）で学習したことを発表する機会を提供し、学習意欲を高めるよう工夫した。

---

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅰ（4 単位）3 年次

② 内容・ねらい
中小企業、ベンチャー企業を研究対象とした。具体的には、「企業とは何か」からはじめ、中小企業・ベンチャー企業の経営の特徴を理解することを目指した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
基本テキストを活用し討議を行った。問題提起、自己の主張ができるよう丁寧に議論を重ねた。新聞やビジネス雑誌を活用し企業経営の現実的課題を理解し、卒業論文のテーマの絞り込みを行えるように工夫した。
９月に社団法人横浜市工業連合会横浜青年経営者会の協力を得て研究発表会、企業見学（２社）を開催した。
9 月にクロネコヤマトミュージアム（東京）を訪問し、ヤマトグループ創業 100 年の歴史の説明や参考資料を入手して学習した。
10 月 20 日、11 月 10 日に「ものづくり産業魅力向上事業」を実施、協力：福井市役所
10 月 20 日（金）羽水高校に訪問し、高校生に「企業を知るとは」をテーマに授業を行い、ゼミ独自のワークシートを活用した学習を試した。ゼミ生が「工場見学クイズ」などを行い高校生の学習を支援した。
10 月 20 日の事前学習後、11 月 10 日に羽水高校の高校生約 40 名とともに工場見学を行った。
日本ダム㈱、サカイオーベックス㈱

【フィールドワーク 研究発表会１件（参加企業７社、団体１）、企業見学４件、企業ミュージアム見学１件】

---

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅱ（4 単位）4 年次

② 内容・ねらい
演習Ⅰでの学習を発展させ、関心のあるテーマを設定し卒業論文の作成に取り組む。卒業論文の作成をとおして、論理的な思考力、分析力、文章力を養う。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
卒業論文の作成をとおして、文献、資料の集め方、調査（フィールドワーク）の準備など支援を行った。
９月に社団法人横浜市工業連合会横浜青年経営者会の協力を得て研究発表会、企業見学（２社）を開催した。
9 月にクロネコヤマトミュージアム（東京）を訪問し、ヤマトグループ創業 100 年の歴史の説明や参考資料を入手して学習した。
10 月 20 日、11 月 10 日に「ものづくり産業魅力向上事業」を実施、協力：福井市役所
10 月 20 日（金）羽水高校に訪問し、高校生に「企業を知るとは」をテーマに授業を行い、ゼミ独自のワークシートを活用した学習を試した。ゼミ生が「工場見学クイズ」などを行い高校生の学習を支援した。
10 月 20 日の事前学習後、11 月 10 日に羽水高校の高校生約 40 名とともに工場見学を行った。
日本ダム㈱、サカイオーベックス㈱
11 月 20 日（月）卒論指導のため、ふくいジョブステーションに訪問しキャリアアドバイザ

ーにインタビューを行った。
【フィールドワーク　研究発表会１件（参加企業７社、団体１）、企業見学４件、企業ミュージアム見学１件、インタビュー１件】

①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
インターンシップ（2 単位）3 年次　担当教員　山崎淳／今池康人

②　内容・ねらい
事前研修や就業体験を通じて社会人として必要とされる知識や能力を身に着けること、そして、その体験をレポートやプレゼンテーションの形で報告する力を養う。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
社会に出て働くための心構え、現在の就職事情、ビジネスマナーなどについて講習を行い、夏休み期間中に企業・団体等で就業体験（実地研修）を行った。インターンシップ学内報告会のほか、福井県インターンシップ事前研修会、事後研修会の支援を行った。
ゲストスピーカー（4 月 21 日）「インターンシップの全国的動向と概要」㈱マイナビ　北陸キャリアサポート課　毛呂郁晶氏、（5 月 12 日）「インターンシップ参加への心構え、職場でのマナー・ルール」福井県人材確保支援センター　キャリアアドバイザー　坂田智美氏氏「ふくいインターンについて」アイビーエージェント㈱　人材育成部　上村誠氏
【ゲストスピーカー　３人】

①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
経営学総論Ⅱ（2 単位）1 年次（※オムニバス、分担）

②　内容・ねらい
第 14 回「中小企業論」、地域と中小企業をテーマとした。福井地域経済の特徴を示したうえで、「福井県」の中小企業の量的把握を試みた。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
地域と中小企業について福井県内の身近な事例を用いることで学習意欲が高まるよう工夫した。

(２)その他の教育活動

特に地域との連携に関係する教育活動
演習Ⅰ、Ⅱ（再掲）
10 月 20 日、11 月 10 日に「ものづくり産業魅力向上事業」を実施、協力：福井市役所
10 月 20 日（金）羽水高校に訪問し、高校生に「企業を知るとは」をテーマに授業を行い、ゼミ独自のワークシートを活用した学習を試した。ゼミ生が「工場見学クイズ」などを行い高校生の学習を支援した。
10 月 20 日の事前学習後、11 月 10 日に羽水高校の高校生約 40 名とともに工場見学を行った。日本ダム㈱、サカイオーベックス㈱
【フィールドワーク　企業見学２件】

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
ワークショップ（ベンチャー企業・起業（創業）論）（2 単位）大学院博士前期課程

②内容・ねらい
知識集約的な現代的イノベーターとしての中小企業であるベンチャー企業および起業家の理解を深める。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
ベンチャー企業を分析するための「構造的アプローチ」の全体像を解説し、ベンチャー企業の成功要因分析を行った。さらに各自が事例研究を行い発表するなど実践的な内容とした。

①　担当科目名（単位数）　開講学校名
中小企業論Ⅰ（2 単位）関東学院大学

②内容・ねらい

中小企業におけるさまざまな議論と実例を解説しながら、中小企業の「問題性」、「発展性」を含めた本質に迫るための基礎的枠組みを提供することを主たる内容とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業に関する議論を示すのはもちろんのこと、知識集約的なイノベーターとしての中小企業である「ベンチャー企業」についての議論まで発展させることで興味を持てるようにした。
④本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での中小企業論Ⅰの授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
①担当科目名（単位数）　開講学校名 中小企業論Ⅱ（2 単位）関東学院大学
②　内容・ねらい 多様性の中にみられる中小企業の本質に迫るための基礎的枠組みを提供することを主たる内容とした。また、中小企業は地域社会の形成者であることに着目し、地域経済の担い手としての役割について理解する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 配布資料、映像資料などを活用し、学習意欲が高まるよう工夫した。また、質疑応答の時間を確保することで理解が深まるようにした。
④　本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での中小企業論Ⅱの授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
①　担当科目名（単位数）　開講学校名 地域経済論（2 単位）関東学院大学
②　内容・ねらい 地域におけるさまざまな問題の発生のメカニズムについてさまざまな角度から考え、地域のあり方、これからの方向を考える基礎となる知識、視点を獲得する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 現実的課題についての理解ができるように神奈川県、横浜市という身近な事例を取り上げ、横浜市の調査レポートなどを活用した。
④　本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での地域開発論の授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②　学術論文（査読あり） 【　本】
③　その他論文（査読なし） 「表具師の世界から見えてきた組合の可能性（１）」、8～11 頁、『中小企業と組合』８月号、通巻第 78 巻第 8 号、No.942 号、2023 年 8 月 「表具師の世界から見えてきた組合の可能性（２）」、6～9 頁、『中小企業と組合』９月号、通巻第 78 巻第 9 号、No.943 号、2023 年 9 月 「表具師の世界から見えてきた組合の可能性（３）」、6～9 頁、『中小企業と組合』10 月号、通巻第 78 巻第 10 号、No.944 号、2023 年 10 月 【　３本】
④学会発表等 【　件】
⑤　その他の公表実績 【　１本】 講演 講師 １．全国中小企業団体中央会　令和５年度初任者基礎研修 テーマ「中央会を取り巻く現状と連携・組織化の展望２０２３　～リ・スタートする社会経済における「支援者」のあり方～」2023 年５月
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

① 国・地方公共団体等の委員会・審議会
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ 公益性の強い）NPO･NGO 法人への参加
④ 兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤ 学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ 公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座 経済学部・同大学院「ビジネススクール」短期ビジネス講座 2023（企画コーディネーター）
⑦ その他

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
ハラスメント相談員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など